第163号
平成30年
1月

フクタニュース

発行
(株)フクタ

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。
昨年を振り返りますと、政治においては安倍政権への批判、そしてそのさなかでの衆議院選挙にて自民党の圧勝、そのほか北朝鮮のミサイル発射での戦争が起きるのではないかとの恐怖など、激しい一年であったと思います。しかしながら経済面では株価がバブル以降最高値を更新するなど安定した一年でありました。本年は成年であり元気に駆け上がる年になれば幸いに思います。
どうか今年度もご愛顧のほどよろしくお申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役　中田　勇司

2018 謹賀新年

おかげさまでフクタは今年で46回目の新春を迎えることが出来ました。

いちばん　めざし　黙々と
ぬかるむ道も　なんのその
どんな苦難も　乗り越えて
しゃかいの礎　ささえる我ら

本年も宜しくお願いします

ふるい機交換

原石の１５０㎜以下を選別するふるい機を更新しました。１５０㎜以下の原料を投入し、１５０㎜～８０㎜は砕石原料として回収し、８０㎜～４０㎜はズリＢ、４０㎜以下はズリとして選別する役目を担っています。従来のふるいは長年の使用で亀裂、摩耗、損壊が発生している状況でした。今回補強型を導入したことで、安心感が増しました。

初夢（はつゆめ）

その①　抑止効果

2017年今年の漢字は「北」であった。北朝鮮のミサイルの脅威は高まるばかりだ。
そこで当社が極秘に防衛省と研究を進めていた「石つぶて雨あられ作戦」が実用段階に入った。これは発破の飛石作用を強力に特化した発破方法により、初速5,600ｍ／sec、飛行距離1,200ｋｍを実現したものである。
全国の採石場で作戦可能となり、相当な抑止効果が期待できる。ただし、正恩委員長に当たるかどうかは定かではない。

Zzzzzzzz...

その②　固める技術

当社が長年研究を続けてきた超強力凝集固化剤が完成した。0.1ｍｍ以下の無機質粒子を密度2.5～3.0の岩石に固化することが可能となった。
もちろん当社は特許を取得し、「カタ丸１号」のネーミングで商品化、世界中の建設現場で使用されることとなった。かくして砕石業は造石業となった。

あけましておめでとうございます！

昨年暮れより、当然の如く寒波の波にも揉まれ早朝の凍結、大雪の悪路に神経を使い疲労が溜まっている方々も多いのでは？車間距離を十分に取り、急のつく動作を避け、時間に余裕の持った行動が事故、二次災害を防ぐ有効手段と云われております。
ドラレコ、録画式バックカメラの普及率が年々増え今では、販売店も追いつかない程の受注状況だそうです。貴方のその運転、「見られている」かも・・・です(笑)
昨年は福田運送をご愛顧いただきましてありがとうございました。今年も、従業員ひとりひとりが、安全、確実に輸送する役割と使命をしっかりと理解し信頼される運送会社を目指していきます。宜しくお願いいたします。

安site　～偏在がもたらすもの～

「医師不足と言われている」　現実は、都会に多くて地方に少ない偏在が問題になっているようだ。
日本一の砕石生産量を誇る栃木県で最近、在庫切れによる出荷待ちが発生しているという。理由はオリンピック関連工事による需要の増大、人手不足、設備の老朽化等考えられるが、中長期的に見ると新たな資源の確保が課題になってくるであろう。大きな需要を抱える採石山の消耗は早い。需要は社会の状況に応じて質も量も変化をしていくものであり、それに応じて立地や品ぞろえを変えていくことが一般的な事業の形態であるが、採石山を短期間で需要地に展開していくことは困難であろう。需要の偏りは逆から見ると供給の偏在となる。物理的に偏在を解消できない採石業であるならば、できる限り広域な連携と物流体制の変革を進めなければならない。「石不足と言われている」ということがないように。

編集後記　昨年はなんだか慌しい一年でしたが、お蔭様で元気に笑顔で新しい年を迎えることができました。今年は『お客様の喜ぶ顔が見たい』という心をもってがんばりたいと思います。フクタニュース共々今年も宜しくお願いいたします（＾＾）